

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【公表番号】特表2014-517236(P2014-517236A)

【公表日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-038

【出願番号】特願2014-516193(P2014-516193)

【国際特許分類】

F 16 H 61/02 (2006.01)

F 16 H 59/46 (2006.01)

F 16 H 59/42 (2006.01)

F 16 H 59/44 (2006.01)

F 16 H 61/682 (2006.01)

【F I】

F 16 H 61/02

F 16 H 59/46

F 16 H 59/42

F 16 H 59/44

F 16 H 61/682

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月21日(2015.5.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アクセルペダルにより制御される自動車の内燃機関を備えたパワートレインに設けられている変速機の、変速機入力軸と変速機出力軸との間に配置されている2つのギア間におけるシフトプロセスを、目下係合しているギアと、新たに係合させられるギアとの間のシフト経路に沿って、同期装置の同期閾値を克服しつつ、変速機アクチュエータによって、予め設定される同期力により移動させられるシフトエレメントを介して制御する方法であつて、

前記同期力を、前記変速機入力軸と、前記変速機出力軸との間の回転数差勾配の、目標値からの偏差に基づいて調節することを特徴とする、シフトプロセスを制御する方法。

【請求項2】

前記目標値を、アクセルペダルのアクセルペダル値と、新たに係合させられるギアの目標回転数及び目下の回転数から、ギア間の変速比の差を考慮して算出された一方の変速機軸の回転数差と、に少なくともに基づいて算出することを特徴とする、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記目標値を、前記自動車の現在調節されているドライブモードに基づいて算出することを特徴とする、請求項2記載の方法。

【請求項4】

前記回転数差勾配を前記シフトプロセス中に、継続して更新することを特徴とする、請求項1から3までのいずれか1項記載の方法。

【請求項5】

前記回転数差を、シフトプロセスの同期段階の開始時に算出することを特徴とする、請求項2記載の方法。